



Title	森塚文雄教授 学歴職歴・研究業績
Author(s)	
Citation	大阪外大英米研究. 1985, 14, p. 9-14
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/99079
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

森塚文雄教授学歴職歴

- 1942・3 広島高等師範学校文科第2部第3学年修了
1944・9 広島文理科大学文学科英語学英文学専攻卒業
1946・7 香川県立三豊高等女学校教諭
1948・4 兵庫師範学校教官
1949・4 神戸経済専門学校教授兼神戸商科大学講師
1950・11 神戸商科大学助教授
1952・6 アメリカ合衆国ミシガン大学ホラス・H・ラッカム大学院卒業
(M. A.)
1961・7 神戸商科大学教授
1969・4 大阪外国語大学教授
1969・1 大阪外国語大学大学院「英語学」担当教授資格審査に合格
1969・7 同資格合格発令(文部省)
1971・9 アメリカ合衆国ウィスコンシン州ラシース市ドミニカ大学客員教授
1977・7 大阪外国語大学附属図書館長
1982・3 大阪外国語大学1部英語学科主任
1985・3 停年退官
- 1957・4 甲南大学文学部非常勤講師
1958・4 神戸市外国語大学英米学科非常勤講師
1969・4 神戸大学大学院文学研究科非常勤講師
1969・4 神戸市外国語大学英米学科非常勤講師
1974・4 神戸学院大学教養部非常勤講師
1983・4 大阪学院大学商学部非常勤講師

- 1950・4 日本英文学会会員
1952・10 Linguistic Society of America 会員
1957・7 大阪英語学研究会会員
1967・4 計量国語学会会員
1982・3 大学英語教育学会会員

森塚文雄教授研究業績

〔著書、論文〕

英語音節における音調和

神戸商大「白鳥」Vol. 1 (1949年)

日英両国語動詞の「態」(Voice)について〔上〕

神戸商大「商大論集」Vol. 5 (1951年)

日英両国語動詞の「態」(Voice)について〔下〕

神戸商大「商大論集」Vol. 11 (1953年)

現代英語構造分析の一試案〔上〕

神戸商大「商大紀要」Vol. 2 (1953年)

現代英語構造分析の一試案〔中〕

神戸商大「商大論集」Vol. 12 (1954年)

現代英語構造分析の一試案〔下〕

神戸商大「商大論集」Vol. 13 (1955年)

品詞論と論理

神戸商大「商大論集」Vol. 14 (1955年)

Abstract Noun vs. Nexus Substantive

神戸商大「商大論集」Vol. 17 (1956年)

構文本位上級英文法問題選

南雲堂 (1956年)

二種の外心構造——新言語学的に見た「句」の概念

研究社「英文法研究」(1957年)

Noun or Adjective, again ——名詞前名詞の統語機能

神戸商大「開學記念論文集」〔Ⅱ〕(1958年)

科学の言語面

研究社「英語学ライブラリイ」Vol. 43 (1959年)

自然科学的言語観〔I〕, 〔II〕, 〔III〕, 〔IV〕, 〔V〕, 〔VI〕／〔VII〕, 〔VIII〕

神戸商大「商大論集」Vol. 36 - 37, 38, 39, 46, 47, 61, 同「人文論集」
Vol. 1, No. 3, Vol. 2, No. 2 (1960年, 1960年, 1961年, 1961年, 1962年,
1964年, 1965年, 1966年)

自然科学と言語学〔I〕, 〔II〕, 〔III〕, 〔IV〕

大阪英語学研究会「英語学」I, II, III, IV (1961年, 1962年, 1963年,
1967年)

Sanseido's Dictionary of English Grammar

三省堂(大塚高信博士主幹, 共同執筆) (1959年)

Sanseido's Dictionary of Current English Usage

三省堂(大塚高信博士主幹, 共同執筆) (1961年(初版), 1973年(改訂版))

“Nexus Adjectival” の機能と表現

神戸商大「商大論集」Vol. 56 (1963年)

The New Age Readers, Bk. 1, 2, 3

The New Age Grammar and Composition, Bk. 1, 2, 3

研究社(大塚高信博士主幹, 共著) (1967年(初版), 1971年(改訂版))

“Dependent Nexus” 論

神戸商大「人文論集」Vol. 3, No. 3 (1968年)

Writer's Guide to English Usage

研究社(大塚高信博士主幹, 共同執筆) (1969年)

日英語「形容詞」(Adjective) の比較

神戸商大「人文論集」Vol. 4, Nos. 1 - 2

Verb-Adverb Combination の一考察

神戸商大「人文論集」Vol. 4, Nos. 3 - 4

数学的帰納法と言語構造

大阪外大「英米研究」Vol. 7 (1971年)

日本語の「総主文」

大阪外大「英米研究」Vol. 9 (1974年)

ユニオン総説英文法

中央図書出版(田辺, 林, 前川と共に著) (1976年)

情報理論と言語学 — 「情報量」と文の種類

大阪外大「英米研究」Vol. 11 (1979年)

言語学と確率論〔I〕—「マルコフ過程」

大阪外大「英米研究」Vol. 13 (1983年)

〔翻訳〕

訳詩三題 (Chinese Classical Poems by Mid-Tang Dynasty Poets)

神戸商大「白鳥」Vol. 2 (1950年)

“The Restaurant That Asked So Many Favors,” “Daydreams of a Lakeside Exile”

大阪外大 *The Reeds*, Vol. 14 (1976年)

〔口頭発表〕

イエスペルセン「三階級説」(Three Ranks) 批判

第22回日本英文学会大会 (1950年)

“Langueme” and “Paroleme”

第26回日本英文学会大会 (1954年)

Nexus-Substantiveの本質

第28回日本英文学会大会 (1956年)

“Exocentric Marker”について

第29回日本英文学会大会 (1957年)

Syntactic Functions of “Pre-nominal Substantives”

第30回日本英文学会大会 (1958年)

「自由形・拘束形」と「直次合成形」

第31回日本英文学会大会（1959年）

自然科学的言語観

第32回日本英文学会大会（1960年）

“Nexus-Adjectival”の機能と表現

第35回日本英文学会大会（1963年）

自然語の括弧表現

第36回日本英文学会大会（1964年）